

NIX JAPAN GROUP

C O R P O R A T E
P R O F I L E

ニックスジャパングループ会社案内

SOCIAL DESIGN INNOVATOR



NiX JAPAN GROUP

CONTENTS

PURPOSE & VALUES	02
NiX JAPAN GROUP概要/代表あいさつ	03
事業案内	05
DXサービス事業	06
エネルギー事業	09
海外事業	11
産学官連携事業	15
官民連携事業	16
橋梁	17
インフラ長寿命化計画	18
道路	19
上下水道	20
都市計画・地域計画	21
景観・ランドスケープ	22
測量/補償	23
河川、砂防及び海岸・海洋/農業/漁港・港湾	24
会社概要	25

NiX's PURPOSE & VALUES

OUR PURPOSE

存在意義

SOCIAL DESIGN INNOVATOR

社会を築く、デザインを実装するブランド

インフラコンサルタントという貢献のカタチにとどまらず、
新しい暮らしやすさへ、斬新な視点を。
さらなる安全・安心へ、常識を超えていく。
実現のためには、一人一人の「X」が不可欠。

柔軟な発想と意欲的な行動で未来の社会をデザイン。
テクノロジーのイノベーションで新しい価値を生み出す。
その姿が「New infrastructure X」
「X」でまちを創造する。「X」で社会を革新させる。
私たちの使命と実現力は、時代を超えていく。

OUR VALUES

価値観

挑戦、開発、投資し続ける。

NiX JAPAN 成長の原点。
挑戦、開発、投資のサイクルを回し続ける。

技術力×共感力で社会を創造する。

技術を磨き、共感力をもって
より良い社会をデザインする。

INNOVATORである、志をもつ。

新たな価値や社会変革に
挑み続けるINNOVATORである。

NiX JAPAN GROUP

NiX JAPAN グループ

NiX JAPAN グループは、「SOCIAL DESIGN INNOVATOR～社会を築く、デザインを実装するブランド～」という PURPOSEのもと、インフラ領域の革新と地域との共創を通じて、未来志向の社会づくりに取り組んでまいります。

国内 3社、海外 8社

- ニックスニューエネルギー株式会社
- NiX湯涌ハイドロパワー株式会社
- 平沢川小水力発電株式会社
- PT. NiX Indonesia Consulting
- PT. Lebong Sukses Energi
- PT. Optima Tirta Energy
- PT. NiX Capital Indonesia
- NiX Holdings Singapore Pte. Ltd.
- ALAM NIX RENEWABLES Pte. Ltd.
- GREEN POWER MANAGEMENT Pte. Ltd.
- PT. ARSynergy NiX Indonesia

国内 9社

- NiX JAPAN 株式会社
- 株式会社セイコー測量
- NiX三喜株式会社
- 株式会社技研コンサルタント
- 株式会社東光測建
- 株式会社親熱電工
- NiX CREATE株式会社
- 株式会社昭和設計コンサルタント
- 有限会社ヒロエンジニアリング

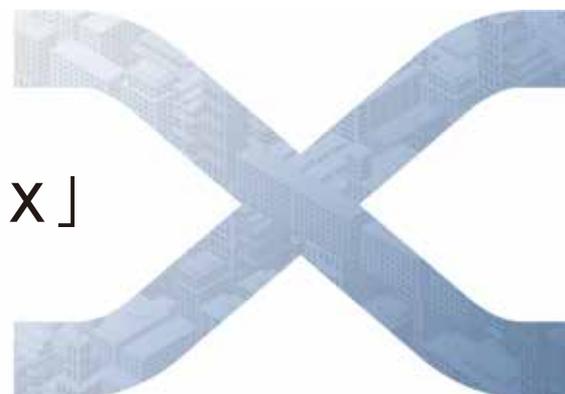


国内 2社

- NiX RiSE株式会社
- クェスタ株式会社



未来のはじまりは「X」



日頃より、NiX JAPAN 株式会社ならびに NiX JAPAN グループ各社に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私たちは 2023 年 7 月、株式会社新日本コンサルタントから「NiX JAPAN 株式会社」へと社名を変更し、建設コンサルタント事業を基盤に、エネルギーソリューション、インフラ DX、そして国際インフラ事業へと事業領域を広げてまいりました。

そしてこのたび、さらなる成長と変化に対応するため、グループ全体の経営を統括する持株会社「NiX JAPAN グループ株式会社」を設立し、新たな経営体制を本格的にスタートいたしました。

NiX JAPAN グループは、「SOCIAL DESIGN INNOVATOR 社会を築く、デザインを実装するブランド」という PURPOSEのもと、社会課題に向き合い、技術とアイデアを組み合わせ、新しい価値を創り出すことを使命としています。グループ各社の持つ強みを掛け合わせ、部門や分野を超えた連携によって、社会により良い未来をもたらすイノベーションを生み出していきます。

今、私たちは「X DAYS」というコンセプトのもと、未来を切り拓く挑戦の日々を歩んでいます。「X DAYS」は、変革を続ける日常そのものであり、私たち一人ひとりの挑戦の積み重ねが、次の時代のインフラと社会を形づくる原動力です。

「未来のはじまりは、X」。

これからも NiX JAPAN グループは、インフラの枠を超え、社会の未来をデザインする挑戦を続けてまいります。引き続き、皆さまの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



NiX JAPAN グループ株式会社 代表取締役社長
NiX JAPAN株式会社 代表取締役社長
博士(経営科学)

市森 友明

Our Business 事業案内

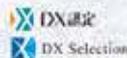
新たな社会基盤の可能性をつくりだします

私たちは国・地域・組織を問わず、新たな社会基盤の可能性をつくりだし、お客様に満足いただける高水準の技術サービスを提供する企業として、『ストックマネジメント、防災・減災、低炭素社会づくり』の重点3事業分野を中心としたコンサルタント事業に加え、次世代型インフラマネジメント事業サービス(DX事業)の提供やPPP/PFI業務の創出を通じて、土木設計業からインフラ技術サービス業に進化を進めてまいります。



DXサービス事業

老朽化や技術者不足等のインフラ分野の社会的課題に対応するため、DXを積極的に推進し、「みちクラ」や「水まもり」など独自のDXソリューションサービスも多数開発しています。



インフラ技術サービス事業

- 産学官連携事業
- 官民連携事業
- 橋梁
- インフラ長寿命化計画
- 道路
- 上下水道
- 都市計画・地域計画
- 景観・ランドスケープ
- 測量/補償
- 河川、砂防及び海岸・海洋農業/漁港・港湾

DXサービス事業

- DX

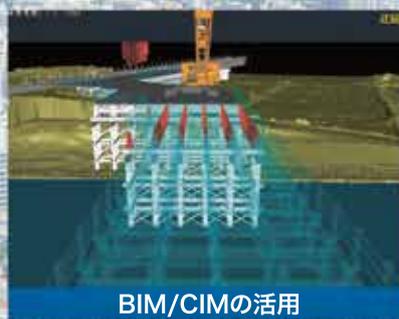
エネルギー事業(IPP)、海外事業

- エネルギー事業
- 海外事業



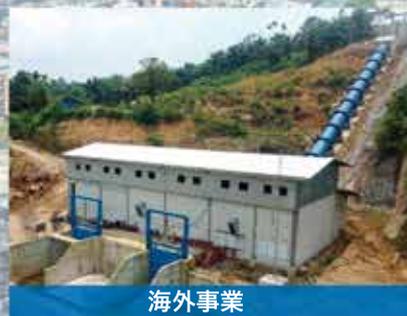
スポーツのNiX

人の心を動かすスポーツの力が地域活性化のカギとして注目を集める中、スケートパーク整備や競技場の設計などに携わることで、スポーツを通じたまちづくりを進めています。



BIM/CIMの活用

生産性革命のエンジンとされているBIM/CIMによるシミュレーションや仮想体験を積極的に導入し、工事の進捗等をわかりやすく“見える化”する4Dにも取り組んでいます。



海外事業

日本で培った水力・太陽光発電技術を活かし、インドネシアにおいても水力発電、太陽光発電、EVビジネスといったエネルギー事業を推進しており、また、新たに投資事業も推進しております。



再生可能エネルギー

小水力発電+マイクログリッド化による「富山型カーボンニュートラル」の推進をはじめとした国内外での再生可能エネルギー開発を通じて、エネルギーの脱炭素化に取り組んでいます。



DXサービス事業

地方自治体は、超高齢化社会への対応、地域経済の再生、老朽化した社会インフラの再整備など、多くの課題に直面する中、IoT・ビッグデータ・AI・5G等の新技術を活用した社会インフラ保全が期待されています。当社は、自治体、住民、民間企業の皆さまと、ICTの力でデジタルトランスフォーメーションを実現し、未来の豊かな地域社会の実現に貢献します。



NiX JAPAN

自治体向けインフラDXソリューション

道路維持管理クラウドサービス「みちクラ」、AI水位予測システム「水まもり」をはじめ、自治体向けインフラDXソリューションを提供しています。「みちクラ」はモバイルコンピューティング推進コンソーシアム主催の「MCPC award 2021」において、サービス&ソリューション部門で奨励賞を受賞、「スマート道路異常検知サービス」は国土交通省「点検支援技術性能カタログ」に採用されています。

分野	サービス名	
道路	みちクラ	道路維持管理クラウドサービス オプションサービス 舗装路面簡易診断サービス スマート道路異常検知サービス
治水	水(み)まもり	AI水位予測システム
河川	かわクラ	河川維持管理クラウドサービス
下水道	すいクラ	下水道施設点検管理クラウドサービス
公園	ぱークラ	公園施設維持管理クラウドサービス



NiX RiSE

SES事業

お客様のシステム開発・運用を支援する最適な技術者を提供します。行政・金融・通信分野のWebシステム、クラウド基盤構築、AI技術に対応します。

公共系DX推進事業

国や地方自治体のDXを推進します。業務効率化、データ活用により公共インフラの課題解決に貢献ソリューションを提供します。



Questar Inc.

クエスト

建設現場向けDXソリューション

建設現場に特化したハードウェアと、課題を解決するためのソフトウェア開発をワンストップで実現する建設テック企業。30を超える特許知財で現場イノベーションを実現します。

- 建設現場のリモート朝礼向けにタッチパネル式の大型モニター「ご安全にモニター」(全国導入事例1800件)
- スマートフォンで現場の消灯作業を行い、建設現場の省人化、節電が可能となる「JITAN SWITCH」





下水道DX 下水道施設点検クラウドサービス「すいクラ」

業務をデジタル化で一元管理、下水道施設点検管理のDXを実現



下水道の維持管理業務をデジタル化して一元管理。日常・災害時の業務効率が大きく向上します。

下水道施設点検クラウドサービス「すいクラ」

このお悩みを解決するクラウドサービスがあります。

解決！

サービスのご利用イメージ

サービス機能紹介

- マップ移動機能: マップ上で施設位置を確認し、点検ルートを変更できる
- スマホアプリ連携: アプリからブルドッグマンなどで現場へも移動できる。点検記録や点検結果、数値の紐づけも可能
- 点検結果集計・報告機能: 条件を設定して速速に点検結果を報告に集約。マップからの抽出も可能
- 報告書自動作成機能: 複数の点検結果を連携して自動で報告書を作成可能

サービス全体概要



公園DX 公園施設維持管理クラウドサービス「ぱークラ」

業務をデジタル化で一元管理、公園施設維持管理のDXを実現



公園施設維持管理をデジタル化して一元管理。きめ細やかな対応・巡回業務の業務効率が大きく向上します。

公園施設維持管理クラウドサービス「ぱークラ」

このお悩みを解決するクラウドサービスがあります。

解決！

サービスのご利用イメージ

サービス全体の仕組み

サービス機能紹介

- 現場特化型機能: 現場での作業効率を向上させるための専用機能
- 巡回業務効率化: 巡回ルートや作業内容の最適化
- 報告書自動作成機能: 複数の点検結果を連携して自動で報告書を作成可能

サービス全体概要



Questar Inc.

建設現場向けDXソリューション



現場特化型サイネージ

建設現場の情報共有や周知に最適な屋外タッチサイネージ、「ご安全にモニター」「ご近所様モニター」。30を超える現場専用コンテンツでコミュニケーションの活性化を実現します。



JITAN SWITCH

現場の仮設分電盤のスマホ操作を可能にする「JITAN SWITCH」電灯に関わる労力を改善する、一度使ったら手放せなくなる即効性の高いDXアイテム。





エネルギー事業

エネルギー事業として、これまで培った技術・技能を活用して再生可能エネルギーの開発を積極的に進めています。国内外の電源開発を通して、地域の再生可能エネルギーの創出に取り組んでまいります。

2 平沢川小水力発電所

2015.02運転開始



一般家庭
270軒分

認可出力	想定年間発電量	設備利用率
198kW	970MWh	55.8%

1 NiX八尾ソーラーパワー

2014.10運転開始



一般家庭
300軒分

認可出力	想定年間発電量	設備利用率
1,260kW	1,233MWh	11.2%

4 金沢ゆわく小水力発電所

2022.04運転開始



一般家庭
280軒分

認可出力	想定年間発電量	設備利用率
160kW	1,176MWh	95.0%

3 湯谷川小水力発電所

2018.01運転開始



一般家庭
1,200軒分

認可出力	想定年間発電量	設備利用率
843kW	4,100MWh	57.2%

NiXの国内での
取り組み

NiX Total
Production
2.4MW

CO2削減量
3,400t-CO2
(排出係数 0.462kg-CO2/MWh)

2009年から小水力発電関連事業を開始し、これまで、多数の設計・施工管理業務の実績を積み重ねています。そのノウハウをベースに自社発電事業として国内に3カ所の小水力発電所、1カ所の太陽光発電所を所有運営しています。国内の自社発電事業では、合計2.4MWの規模から、年3,400tのCO2削減に寄与しています。

▶ NiX 八尾ソーラーパワー

自然エネルギーのなかでも建設から稼働までの期間が比較的短い太陽光発電に着目し、自然エネルギーの固定価格買取制度 (FIT) を活用したメガソーラー事業に取り組んでいます。第一号となる発電所「NiX八尾ソーラーパワー」が2014年10月に運転開始しました。同施設は、地球温暖化防止に向けCO2排出量を削減することを目的に、富山市が推進する「環境モデル都市」の取組みの一環として、ニックスニューエネルギー株式会社が再生可能エネルギーの普及促進と地域活性化に協力するものです。

▶ 平沢川小水力発電所

石川県土木部砂防課が「エネルギーの地産地消」「砂防堰堤周辺の環境向上」「県有施設の有効活用」という3つの方針を掲げ、民間の発電事業者を公募した事業で、今後20年間にわたる運営・管理を実施していきます。公共施設である砂防堰堤の活用と民間資金活用による小水力発電事業は、石川県内では初めての取り組みであり、その形態は全国的にも先進的な事業です。

▶ 湯谷川小水力発電所

南砺市を流れる一級河川庄川水系湯谷川の水を利用し、稼働した湯谷川小水力発電所は、河川水利用の流れ込み式の発電所で、総落差は約85mです。構想当初よりNiX JAPANグループが、自ら規模の最適化や経済合理性の調査、設計、資金調達、施工を行ってきました。最大発電出力は843kW、民間事業者が開発する小水力発電所の中では、比較的大きな規模の発電所となります。

▶ 金沢ゆわく小水力発電所

二級河川大野川水系浅野川(湯涌曲町・湯涌河内町)に位置する旧白雲楼河内発電所の再生・復活を行う事業です。本事業は、2014年8月より可能性調査、地元調整、許認可取得、各種設計等を実施し、2022年4月に運転開始しました。浅野川水系で唯一の小水力発電所である旧白雲楼河内発電所の再生・復活事業を通じ、金沢市の奥座敷と称される金沢湯涌温泉周辺の地域活性化・地域振興への取組みにも寄与したいと考えております。さらに、旧白雲楼河内発電所の旧水車2台は、2024年10月に金沢市初の有形文化財として登録され、湯涌温泉地区のあらたな観光資源として活用されることが期待されます。

環境への取組み

100年先の子孫へ

健全で恵み豊かな環境を受け継いでいくことを目指し、
地域・経済・環境の好循環に配慮しつつ、
低炭素社会づくり、循環型社会づくり、
自然共生社会づくりに寄与する

- 地球温暖化対策関連計画
- 環境基本計画
- 再生可能エネルギー導入適地調査
- 新エネルギー事業可能性調査
- 事業計画
- 費用対効果算定
- 発電事業に係る施設の基本計画
- 実施設計
- 各種法的手続
- 水理環境改善調査・計画
- 地下水位観測

NiX JAPAN GROUP のカーボンニュートラルへの取組み

2050年までにCO2排出量をゼロにする「脱炭素」社会を実現することが世界の共通目標ですが、全て実現するのは難しいものです。削減することが難しい排出分に対し、「実質ゼロ」にする仕組みが「カーボンニュートラル」です。

NiX JAPANグループは、国内に3カ所の小水力発電所、1カ所の太陽光発電所を所有運営し、海外でも水力発電事業、太陽光発電事業に取り組んでいます。今後もエネルギー事業の展開を強化することで脱炭素化社会の実現に寄与していきたいと考えています。

その一環として、自社で使用する電力を100%再生可能エネルギーに転換する再エネ100宣言 (RE Action) に参加し、2030年には再エネ利用率100%を目指しています。今後もサステナブルな社会に必要な企業になるようカーボンニュートラルへの取組みを進めてまいります。

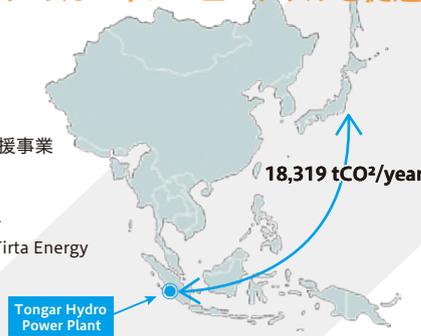


海外の水力発電所が日本・インドネシアのカーボンニュートラルを促進

二国間クレジット制度(JCM)により、
両国の温室効果ガス排出削減目標達成に貢献

トンガル水力発電事業
環境省の令和2年度「二国間クレジット制度(JCM)資金支援事業
のうち設備補助事業」に採択

- 案件名:西スマトラ州西パサマン県6MW小水力発電プロジェクト
- 共同事業者:ニックスニューエネルギー株式会社 PT. Optima Tirta Energy
- 想定温室効果ガス(GHG)排出削減量:18,319 t CO2/年



二国間クレジット制度 (Joint Crediting Mechanism: JCM) 資金支援事業のうち設備補助事業

優れた脱炭素技術等を活用し、途上国等における温室効果ガス排出量を削減する事業を実施し、測定・報告・検証(MRV)を行う事業。途上国等における温室効果ガスの削減とともに、JCMを通じて我が国及びパートナー国の温室効果ガスの排出削減目標の達成に資することを目的とする。



Focus

富山県小水力利用推進協議会 会長 市森 友明(NiX JAPANグループ 代表)コラム

TOYAMA CARBON NEUTRAL

富山型カーボンニュートラルを目指して《小水力+マイクログリッド化》

水力発電が果たせる役割

資源エネルギー庁によると、2030年までの再エネ導入量の中心は太陽光と風力であり、開発地点がすでに限られる水力は、増加出力の1%程度となります。しかし、増加電力に占める水力の割合は10%であり、水力発電は、設備利用率が高いことがわかります。そのような点からも小水力は、カーボンニュートラルという社会価値と安定性・効率性という経済価値を両立できる付加価値の高い電源と言えます。

「とやま」は小水力発電の最適地

現在の日本の発電システムは大規模集中発電により発電時や送電ロスにより、6割以上のエネルギーが失われています。水力は、エネルギー効率が8割と高く、富山県の場合は、水力エネルギーの利用可能量が全国で第2位であり、至るところで小水力発電施設が存在するため、自立分散型電源に適しており、それを電源にしたミニグリッドを形成することで送電ロスも減らせる利点があります。また安定的に発電するため、太陽光や風力を電源としたグリッドよりもエネルギーマネジメントが比較的容易になり、大規模発電所とのグリッドと繋がばさらに安定的に運用することが可能です。このことから富山の小水力は自立分散型電源+マイクログリッドに非常に適した地域であり、《小水力+マイクログリッド化》による富山型カーボンニュートラルが有効だと考えます。





海外事業

NiX JAPANグループの成長事業ドメインの一つである「エネルギー・海外事業」において、日本で培った水力・太陽光発電技術を活かし、インドネシアにおいても水力発電、太陽光発電、EVビジネスといったエネルギー事業を推進しており、また新たに投資事業であるLPガス充填販売事業も推進しております。



海外事業沿革

- 2016年11月
NiX Holdings Singapore Pte. Ltd.設立
(海外事業統括拠点)
- 2016年11月
PT. Lebong Sukses Energi設立
(ケタウン水力発電事業)
- 2019年 4月
PT. NiX Indonesia Consulting設立
(インドネシア エネルギー事業)
- 2019年11月
PT. Optima Tirta Energy設立
(トンガル水力発電事業)
- 2021年 8月
ALAM NiX RENEWABLES Pte. Ltd.設立
(インドネシア屋根置き太陽光発電)
- 2022年 1月
Green Power Management Pte. Ltd.設立
(電動二輪車販売レンタル・
バッテリーステーション運営事業)
- 2023年 1月
PT. NiX Capital Indonesia設立
(事業投資及び投資アドバイザー事業)
- 2023年 3月
PT. ARSynergy NiX Indonesia設立
(LPガス充填販売事業)



インドネシア現地法人

2019年4月にインドネシアでの水力発電、太陽光発電等のエネルギー事業を主要事業としたインドネシア現地法人PT. NiX Indonesia Consultingを設立いたしました。水力発電の設計、土木施設の施工経験の豊富なインドネシア人技術者が在籍しており、自社水力発電事業においてはオーナーズエンジニアリングとして、3D、4DなどのBIM / CIM技術を取り入れ、高品質なプロジェクト管理を実施しています。

また、インドネシアでの長年の事業展開により、事業投資情報も増加し、新たな成長の柱とするために、NiX JAPANグループ100%資本で、2023年1月にインドネシアを中心に事業投資及び投資アドバイザー事業を行う現地法人PT. NiX Capital Indonesiaを設立いたしました。インドネシアの著しい経済成長を背景に、投資パイプラインを多数保有しており、NiX JAPANグループが保有する「技術・資金・人材」とこれまでの投資実績を基に、順次投資を実施していく計画です。

エネルギー事業のエンジニアリングを主要事業としているPT. NiX Indonesia Consultingと投資事業を主要事業としているPT. NiX Capital Indonesiaが協働し、グループの強みである投資と技術を背景に、今後もインドネシアでの事業拡大及びNiX JAPANグループの企業価値向上の促進に努めてまいります。

PT. NiX Indonesia Consulting	
設立日	2019年4月
本社	インドネシア、ジャカルタ
事業内容	インドネシアにおけるエネルギー事業 (水力発電/太陽光発電)



PT. NiX Capital Indonesia	
設立日	2023年1月
本社	インドネシア、ジャカルタ
事業内容	投資および投資に付随する業務 投資アドバイザー業務 (M&A、海外事業展開等)



エネルギー事業

▶ トンガル水力発電所

トンガル水力発電所は、スマトラ島の西スマトラ州西パサマン県パダン市から約200kmの地点、トンガル川流域に位置し、2023年11月商業運転を開始しました。稼働後も発電想定対比を上回る発電を続けており、海外事業ながら安定稼働しています。年間売電量は38.73GWhで、インドネシアの一般家庭約46,000軒分となり、今後25年間、発電した電力をインドネシア国営電力会社PT. PLN(以下、PLN)へ売電します。

本事業は、各種権利取得やPLNとの売電契約締結など、2013年以来インドネシア企業単独で開発を進めておりましたが、技術面や資金面での問題から、プロジェクトが行き詰まっていた中、NiX JAPANグループのインドネシア現地法人PT. NiX Indonesia Consulting(以下、NIC)及びNiX JAPANによる技術最適化及びプロジェクト資金支援を経て、問題を解消し、事業化した案件となります。

2019年11月に、NiX JAPANグループのシンガポール持株会社NiX Holdings Singapore Pte. Ltd. を通し、事業主体であるPT. Optima Tirta Energyの株式を実質75%(議決権ベース)取得しており、マジョリティとしてインドネシア現地法人のNICが中心となって発電所の建設工事を進め、NiX JAPANグループがオーナーズエンジニアリングとして工事施工管理を行うことで事業費削減及びリスク低減を図ってまいりました。さらには、本事業に建設DXを積極的に取り入れ、設計、施工管理においてBIM/CIM技術の3Dモデルや4Dモデルを活用し、プロジェクトの管理情報(時間、機材、人工等)を付加してモデリングし、スケジュールに沿った施工手順のシミュレーションを作成しました。これにより実現可能な工程か、安全を考慮した施工が可能であるかを具体的に可視化することができ、設計から施工管理まで一貫した情報を施工会社と共有することで、工事管理の効率化と工事品質の向上を可能にしました。

また、本事業においてはインドネシア国営開発銀行のPT. Sarana Multi Infrastruktur Perseroとプロジェクトファイナンス契約を調印しています。

プロジェクト名	Tongar Hydro Power Project	事業主体	SPC(PT. Optima Tirta Energy)
出資	NiX Holdings Singapore Pte. Ltd.	事業用地	インドネシア西スマトラ州 西パサマン県
最大使用流量	16.0m ³ /s	有効落差	44.4m
発電出力	6,200kW	水車形式	横軸フランシス型水車×2基
年間発生電力量	38.73GW h (インドネシア一般家庭 46,000 軒分)	オフテイカー	PT. PLN (インドネシア国営電力会社)
売電期間	25年間(FIT: 固定買取契約)	技術コンサルタント	NiX JAPAN株式会社、 NiX Indonesia Consulting



取水堰

取水堰と取水口は、計画発電出力を発生させるのに十分な量の水を取水するように計画されています。取水堰の長さは49m、高さは河床から4mです。堆積した土砂や石を排出するために幅2mの土砂吐きが2か所設けられています。



導水路

導水路は沈砂地とヘッドタンクを繋いでおり、発電に必要な水量をヘッドタンクに送ることができます。水路の長さは3275m、幅は9.12m、高さは2.56mとなります。



発電所

発電所はトンガル川の左岸に配置されます。発電所の長さは32m、幅は17mで、2つの同出力の水平軸フランシス水車、発電機、コントロールルームなどを収容できます。発電所の構造はコンクリート構造となります。

▶ ケタウン水力発電事業

2016年11月にインドネシア企業と合弁で PT. Lebong Sukses Energi を設立し、インドネシアブンクル州での水力発電所(13,000kW)の開発を始め、2019年3月には、本プロジェクトがインドネシア国営電力会社のPT. PLNのDPT審査(電力供給業者資格審査)を通過しました。今後は電力供給会社として、PPA(売電契約)締結の交渉を行い、建設工事へと進んでいく予定です。

プロジェクト名	Ketaun Hyrdo Power Project	事業主体	SPC(PT. Lebong Sukses Energi)
出資	NiX Holdings Singapore Pte. Ltd.	事業用地	インドネシアブンクル州 レボン県
最大使用流量	36.0m ³ /s	有効落差	41.7m
発電出力	13,000kW	水車形式	横軸フランス型水車 ×2 基
年間発生電力量	86.4GWh (インドネシア一般家庭 100,000 軒分)	オフテイカー	PT. PLN (インドネシア国営電力会社)
売電期間	30年間(FIT: 固定買取契約)	技術コンサルタント	NiX JAPAN株式会社、 NiX Indonesia Consulting

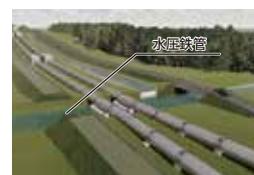
取水堰及び取水口

取水堰と取水口は、計画発電出力を発生させるのに十分な量の水を取水するように計画されています。取水堰の長さは52.2m、高さは河床から5mです。堆積した土砂や石を輩出するために幅1.90mの土砂吐きが2か所設けられています。取水口には幅2.75m、高さ3mの4つのゲートがあり、機械的に操作することができます。



水圧鉄管

水圧鉄管は地表に設置され、アンカーブロックで固定されています。2系統の水圧鉄管があり、各系統は18m³/s、合計で36m³/sを送水可能です。水圧鉄管の長さは336.4mで、内径は2600mmとなります。



発電所

発電所はケタウン川の右岸に配置されます。発電所の長さは45m、幅は23mで、2つの同出力の水平軸フランス水車、発電機、フライホイール、コントロールルームなどを収容できます。発電所の構造はコンクリート構造となります。スイッチヤードは発電所の裏側にあります。



▶ インドネシア屋根置き太陽光発電(第三者所有モデル)事業

NiX JAPANグループの発電事業会社であるニックスニューエネルギー株式会社を通じ、アラムポート株式会社(東京都千代田区)と共同でシンガポールに合弁会社「ALAM NIX RENEWABLES Pte. Ltd.」を設立し、インドネシア共和国における工場向け屋根置き太陽光発電(第三者所有モデル)事業に参入しました。

屋根置き太陽光発電(第三者所有モデル)事業は、電力事業者が顧客の施設の屋根や敷地等に太陽光発電システムを無償で設置・運用し、顧客は発電した電気を購入し、事業者へ使用料を支払うビジネスモデルです。顧客側は初期費用やメンテナンス管理の負担を軽減でき、安価で環境価値の高いクリーンな再生可能エネルギー電源を利用することが可能になり、新たな電力供給方法として近年注目されています。

本事業は2021年9月にインドネシア上場企業である製薬工場向けの第1号案件1,700kWを皮切りに、日系大手工場向け中心に事業拡大しており、現在契約済を含め約30,000kWのアセット規模まで成長しています。今後、数年間で50,000kW相当を目標として、事業展開していきます。





投資事業

▶ 電動二輪車販売レンタル・バッテリーステーション運営事業

インドネシアで電動二輪車の販売レンタル・バッテリーステーション運営事業を推進する「Green Power Management Pte. Ltd.」に事業シード段階から資本参画(当初20%出資)し、傘下の事業会社であるPT. Santomo Green Power Managementの統括を行い、BaaS (Battery as a Service)事業を推進しています。

インドネシアは世界第三位、東南アジア最大の二輪車市場であり、脱炭素化の実現に向けて政府が積極的に電動化の普及を促進しています。バッテリー交換式電動バイクは、環境面だけではなく、約9秒でバッテリー交換ができる利便性やガソリンバイクよりランニングコストが約50%減となる経済性を背景に、今後、ガソリンバイクからの転換が徐々に図られていくことが推測されます。

PT. Santomo Green Power Managementは、東部地区最大都市のマカッサル市において、電動バイクを販売・レンタルし、地域シェアトップになっている他、インドネシア第2の都市スラバヤにも展開し、配車サービスやフードデリバリー等のサービスを展開しているPT. GoTo Gojek Tokopedia社ドライバー向けの電動バイクの供給における協業を開始しました。今後も更なるグリーンモビリティの実現に向けて取り組んでいきます。

■ Green Power Management の概要

正式名称	Green Power Management Pte. Ltd.
設立日	2022年1月
住所	HAVELOCK ROAD #04-20 HAVELOCK 2 SINGAPORE 059763
株主	<ul style="list-style-type: none"> ● Santomo Resource Pte. Ltd. ● 東邦ガス株式会社 ● ニックスニューエネルギー株式会社 ● 明和産業株式会社 ● 株式会社QRインベストメント



電動二輪車

▶ LPガス充填販売事業

インドネシア現地法人PT. NiX Capital Indonesiaを通じて、インドネシアのLPガスプラントを保有・運営するPT. ARSynergy Resourcesと、2023年3月にインドネシアで新たにJV企業であるPT. ARSynergy NiX Indonesiaを共同で設立(NCI:51%保有)し、総投資費用約600万ドルで東ジャワ州スラバヤグレシク工業団地にガス充填施設を建設、2024年3月に竣工しました。

販売ライセンスを取得後、2024年5月からインドネシア国内で「ArsyGas」の販売を開始し、多くの市場開拓に成功しています。直近ではジャワ島からバリ島の主要都市に販売代理店を構え、卸売及び直販ともに商圈を拡大しており、「正確なガス」というコンセプトのもと、既存事業者との差別化を図り、安全で経済的・効率的なLPガスを提供することで、既に多数のホテルやレストラン、病院等、様々な産業で使用され、地域社会から需要は日々増加しています。また、インドネシアでは珍しく受発注にアプリを導入しており、顧客はアプリを通じて簡単に注文することができ、より実用的で正確な購入方法を提供しています。

強い需要を背景に事業は順調に進んでおり、早期に年間売上20億円程度の売上目標達成を目指します。第2フェーズでは、日本のLPガス事業者や関連メーカーとの連携を視野に入れ、さらなる事業拡大、テクノロジーの強化を計画しています。

■ PT. ARSynergy NiX Indonesia の概要

正式名称	PT. ARSynergy NiX Indonesia
設立日	2023年3月
住所	SCBD, Gedung Treasury Tower , Kawasan District 8 LOT 28, Jl. Tulodong Atas 2 No.28, RT.5/RW.3, Senayan, Kec. Kby. Baru, Kota Jakarta Selatan, Daerah Khusus Ibukota Jakarta 12190
株主	<ul style="list-style-type: none"> ● PT. NiX Capital Indonesia ● PT. ARSynergy Resources



LPガス充填工場



ODA — JICA 民間連携事業 —

「中小企業海外展開支援事業 ～案件化調査、普及実証事業～」

日本企業の海外へのビジネス展開、及び現地の未電化地域の電力不足の解消を目的とし、当社は本事業に外部人材として参画しました。

富山市・富山市内企業と連携し、バリ島タバナン県に既存の用水路網を利用した用水路対応型小水力発電システムとして水車4基を設置しました。また、自立的に維持管理可能な運営を行うため地域住民へ技術研修を行い、他地域への展開を図るため、持続的に活用できる普及導入モデルを提案しました。



設置した街灯



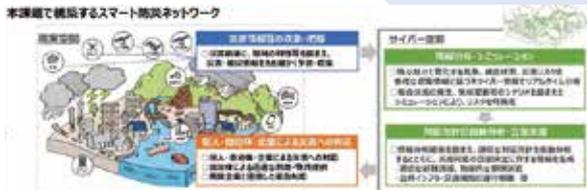
2017年11月水車設置完成



産学官連携事業

産学官連携事業では、将来性のある技術を厳選し、その技術を保有する大学や民間企業との連携において研究開発を進めています。また、自治体を実証フィールドとした産学官連携事業も行っています。

▶ 戦略的イノベーション創造プログラム（通称 SIP: エスアイピー）



科学技術イノベーションを実現するため、2014年に創設された国家プロジェクト「戦略的イノベーション創造プログラム：SIP（総合科学技術・イノベーション会議（内閣府設置）」に参加します。

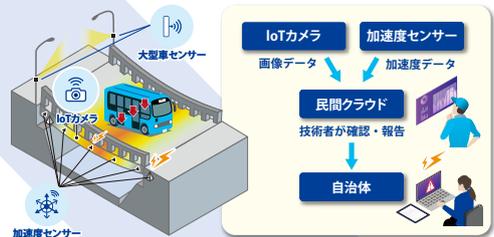
当社は、SIP第3期スマート防災ネットワークの構築およびスマートインフラマネジメントシステムの構築に「都市丸ごとシミュレーション技術研究組合」の一員として取り組みます。

▶ 次世代橋梁維持管理産学官共同研究

加速度センサー橋梁モニタリングシステム開発および点検合理化の研究を大学および自治体と共同で行なっています。

- 加速度センサー橋梁モニタリングシステム開発
東京大学大学院工学研究科 長山智則准教授、富山市
- 点検合理化の研究
横浜国立大学イノベーション研究院 細田暁教授、高岡市

クラウドデータに基づき、主桁・床板・支承の状態を把握



▶ クラウド 3次元 GIS データベースの適用可能性調査

【2021年度B-DASHプロジェクト / 国土交通省国土技術総合政策技術所】



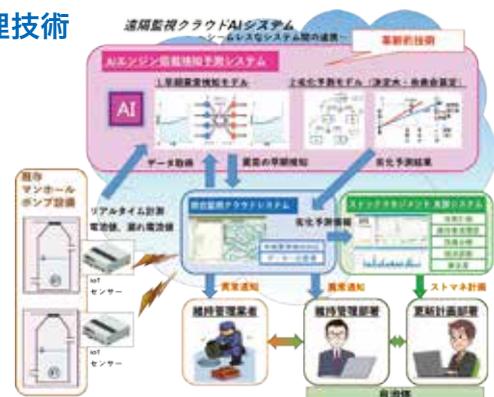
ドローン等の技術を活用し、機械化することで効率的に施設情報を取得し、下水処理場の土壌・建築施設の劣化特性を効率的に把握。また、クラウド上の3次元モデルを活用することで点検情報の可視化やその施設情報の蓄積、管理を行います。既存の設備台帳等との連携によるデータの共有化により、効率的かつ効果的なストックマネジメントに資する技術であることの可能性調査 (FS) を実施しました。

▶ クラウドや AI 技術を活用した効率的なマンホールポンプ管理技術

【2019年度B-DASHプロジェクト / 国土交通省国土技術総合政策技術所】

マンホールポンプの維持管理データやIoT計測データをクラウドで一元管理し、AI技術を活用して異常検知や劣化予測をすることにより、マンホールポンプの維持管理の効率化及びライフサイクルコスト (LCC) の削減効果を実証しました。

- 特許 第7431390号 「マンホールポンプ異常検知方法」
- 特許 第7431391号 「マンホールポンプの劣化予測方法」
- 特許 第7332185号 「マンホールポンプの異常未然検知方法」
- 特許 第7344935号 「マンホールポンプの監視システム」



▶ 都市域における局所的集中豪雨に対する降雨及び浸水予測技術

【2015年度B-DASHプロジェクト / 国土交通省国土技術総合政策技術所】

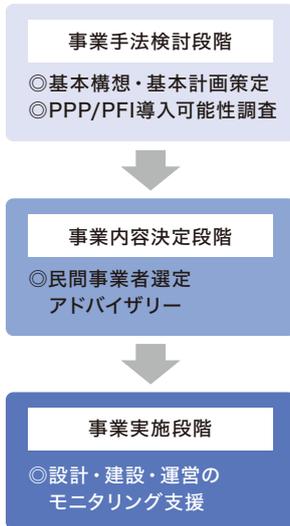


リアルタイム浸水予測システムによる浸水被害軽減効果を実証しました。このシステムは、小型レーダ雨量計、短時間降雨予測モデル、および高速流出解析を組み合わせており、システム導入によって自動・共助の促進と既存雨水対策施設の能力を最大限活用し、浸水被害を軽減することができます。



官民連携事業

公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営にPPP/PFIを活用することで、民間事業者が行う創造的な提案やサービスの実施、トータルコストの縮減などの効果が期待できます。当社は、公有地の活用やエネルギーマネジメント事業などの事業者側としての経験を活かすことができる総合コンサルタントとして、様々な公共施設において、自治体の皆様の検討をサポートします。



都市公園官民連携事業検討業務



古洞の森自然活用村民間活力導入検討業務



PPP事業(カフェ運営)



富山駅周辺エリア官民連携推進事業業務



富士見公園官民連携事業詳細検討業務



PPP事業(公有地活用)

▶ 基本構想・基本計画策定

プロジェクトの初期段階・企画構想段階では、設計・建設などの技術面の検討のみならず、法的なリスク管理など、多岐にわたる検討が必要です。当社は、総合コンサルタントとしての強みを活かし、土木・建築のみならず、DXなどの各分野の専門技術者が連携した多角的な分析・計画策定を行うことができます。

- 事業の前提条件整理
- 基本方針の検討
- 導入機能の検討
- 管理運営方針の検討
- 事業スケジュールの検討

▶ PPP/PFI 導入可能性調査

事業の実現可能性を高めるために、富山の地元企業としての強みと、全国の幅広い事業に取り組んできた強みの両方を活かすことができます。また、行政支援の実績と事業者側としての経験を活かして、行政・事業者の両者にとって最も効果的な解決策を導き出し、実現性の高い事業計画を策定します。

- 事業手法の整理
- 民間事業者への市場調査
- VFM算定・検証
- 最適な事業手法の提示

▶ 民間事業者選定アドバイザー・モニタリング支援

公募資料の作成から事業者選定、選定後の契約調整、そして事業運営のモニタリングまで一貫した支援ができます。様々なPPP/PFI事業に長年取り組んできた技術者の経験を活かして、将来起きうるリスクを的確に捉えた詳細な検討を通じて、行政・民間事業者の両者が円滑に取り組むことができるようサポートします。

- 実施方針の策定・公表
- 特定事業の選定・公表
- 募集要項の作成
- 審査基準の作成
- 契約締結支援
- 設計・建設モニタリング支援
- 運営モニタリング支援

▶ 施設の特性を踏まえた事業の実施

● 公共施設 (PPP/PFI)
施設の特性或課題を的確に捉え、基本構想・基本計画策定から民間活力導入可能性調査、民間事業者選定アドバイザー・モニタリング支援まで、各段階の状況に合わせて的確にサポートします。

● 都市公園 (公募設置管理制度 (Park-PFI) 等)
都市公園特有の法適用に基づく、公募設置管理制度 (Park-PFI) などの制度を活用し、公園のポテンシャルを引き出す、最適な官民連携事業を支援します。

● 公的不動産 (PRE)
廃止予定の公共施設や低未利用の公有地等について、民間活力の導入による有効活用、財源確保・行政負担削減、地域活性化を支援します。



近年の実績一覧
業務実績は一部です。
Webサイトでは過去の実績も
すべてご覧いただけます。

- 古洞の森自然活用村民間活力導入検討業務(富山県富山市/2022)
- 都市公園官民連携事業検討業務(千葉県松戸市/2023)
- 自然公園における民間活力導入可能性基礎調査業務(富山県生活環境文化部/2023)

- 学校給食センター整備・運営事業者選定アドバイザー業務(兵庫県神戸市/2024)
- 君津市公民館等再整備事業PPP/PFI導入可能性調査業務(千葉県君津市/2025)



橋梁

人や車、鉄道、ライフラインなど、安全・快適に移動するための交通空間の中で重要な役割を担う橋梁。これまで培ってきたノウハウと最新の技術を活用し、経済性、維持管理性、耐震性に優れた構造物であることはもちろん、地域の環境や将来像を考慮し、新たな橋梁の計画・設計を行います。

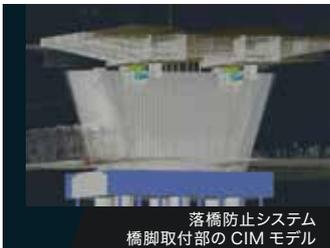
また、部材数が多く、あらゆる条件下で常に荷重を受ける構造物である橋梁は、損傷も多種多様であるため、定期的な点検と見つかった損傷の補修を効果的に行うための長寿命化計画を考えなければいけません。特に、古い橋梁は、交通環境の変化による耐荷性能不足への補強や、震災の教訓より得た耐震対策などの補強を行う必要があるため、長寿命化という時代ニーズに応えた劣化診断や損傷診断により、長期間にわたる安全性の確保、大規模地震に対する耐震補強を提案しています。



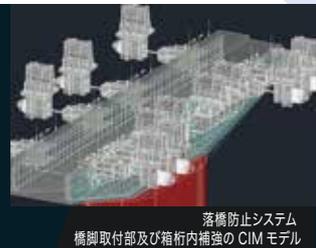
中央自動車道 府中高架橋



東京都区内 瑞江大橋



落橋防止システム
橋脚取付部の CIM モデル



落橋防止システム
橋脚取付部及び箱桁内補強の CIM モデル

橋梁設計

道路橋・歩道橋をはじめ、あらゆる橋梁の予備から詳細な設計に至るまで最適な工法を選定し設計を行います。

- 一般図作成業務
- 予備設計・基本設計
- 詳細設計・実施設計
- 施工計画
- 各種解析
- 撤去設計

橋梁保全設計

長く使用されてきた橋梁は、機能を維持するため、点検や詳細調査を実施し、対策が必要な損傷等に対して補修対策を行っていく必要があります。また、機能の向上を図るため、床版の補強や橋梁の連続化、拡幅や改築等が必要な橋梁も多数存在します。このような橋梁保全に関わることについてもこれまでの実績から得た多くのノウハウにより最適な補修・補強工法を選定の上詳細設計を行います。

- 復元設計
- 耐力照査
- 補修・補強設計
- 改築設計（床版取替・橋梁拡幅等）
- 施工計画
- 各種詳細調査（変状調査・材料試験・非破壊試験等）
- 測定（応力頻度測定・たわみ測定等）

耐震設計

豊富な実績から得た多くの耐震設計ノウハウにより、大規模地震に対する安全性の確保が必要な橋梁の耐震設計を行います。

- 地震時保有水平耐力法設計
- 3次元非線形モデルによる静的解析または動的解析
- 免震・制震構造を用いた耐震検討・設計
- 各種落橋防止システムの検討・設計
- 基礎補強の検討・設計



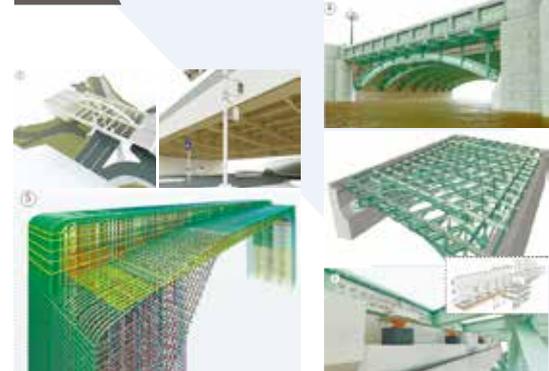
橋梁DX

橋梁デジタルツイン設計

3Dモデルによる超高精度設計と情報共有デジタルツインによる建設生産システムの効率化・高度化



比較検討



耐震補強検討

補修・景観影響検討



常願寺大橋補修設計（富山市）

ドローン撮影により、現況構造を復元



撮影状況（上）、ドローン（下）

橋梁 VR ダイナミック設計



VRモデルを活用したダイナミックデザイン（施工時・供用時）による設計の可視化

水無瀬橋架替え予備設計
（東京都八王子市）



近年の実績一覧

業務実績は一部です。
Webサイトでは過去の実績も
すべてご覧いただけます。

- 春江橋架替詳細設計業務（東京都江戸川区/2021）
- 新湘南バイパス赤羽根高架橋鋼橋耐震補強設計（中日本高速道路(株)/2023）

- 千葉管理事務所管内橋梁補修設計（東日本高速道路(株)/2023）
- 新都心歩道橋外2橋補修詳細設計（東京都建設局/2024）
- 花園橋耐震補強詳細設計業務（埼玉県/2024）



インフラ長寿命化計画

インフラ施設の経年により、増大する維持管理費に対応するため、インフラの変状・劣化の進行を点検により定量的に把握し、性能低下に応じて適切な補修・補強を行う予防保全型の維持管理に移行していく必要があります。点検・診断、評価、計画・設計、修繕等、一連の業務プロセスを一貫的に取り組むことにより、インフラ施設の維持管理・更新について、安全性確保、コスト縮減を図りながら、的確かつ効率的・効果的な運用に貢献します。



当社橋梁点検車使用による点検



路面性状調査



写真技術を応用した点検調査(当社保有UAV)



管口カメラによる点検



道路分野

道路・構造物点検・長寿命化計画

- 路面性状調査
- 点検・劣化調査
- 塗膜調査・非破壊検査
- 長寿命化計画
- 調査、補修・補強設計

橋梁長寿命化計画

- 橋梁基礎データ収集
- 橋梁の健全度評価、重要度判定
- 優先度設定項目の検討
- 劣化予測の検討
- 補修・補強対策検討・予算算定
- 橋梁長寿命化計画策定

公園分野

公園長寿命化計画

- 公園施設健全度調査、バリアフリー調査
- 長寿命化計画策定
- 公園再生調査、計画立案

河川・砂防分野

砂防関係施設点検・長寿命化計画

- 河道計画・護岸詳細設計
- 構造物耐震補強設計
- 砂防基礎調査
- 砂防堰堤詳細設計
- 砂防関係施設緊急点検
- 河川堤防浸透解析・築堤詳細設計
- 樋門・樋管予備設計・詳細設計
- 河川堤防健全度調査

下水道分野

下水道施設ストックマネジメント計画

- 施設の調査・診断
- 長寿命化計画の策定、維持管理計画の提案
- 改築・更新実施設計

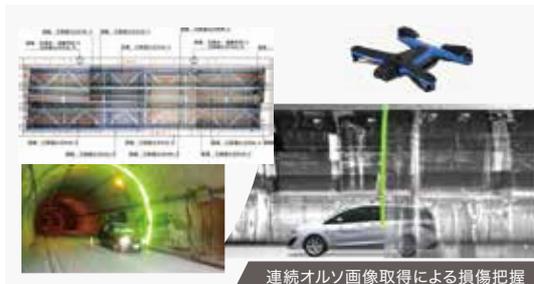


点検・サーベイDX

様々なセンシング技術を駆使して、DXのベースとなる三次元データを取得。点検新技術、ICT活用により、メンテナンスの効率化を支援。



スキャンによる鋼製部材の層状錆、孔食部の把握



連続オルソ画像取得による損傷把握



近年の実績一覧
業務実績は一部です。
Webサイトでは過去の実績も
すべてご覧いただけます。

- 石川海岸保全施設長寿命化対策調査業務 (国土交通省金沢河川国道事務所/2022)
- 公共下水道施設点検・調査業務(埼玉県飯能市/2022)
- 横浜国道改築工事橋梁点検及び設計業務 (国土交通省横浜国道事務所/2023)

- 土木特定施設長寿命化修繕計画更新業務(東京都江戸川区/2024)
- 橋梁長寿命化修繕計画見直し業務(富山県魚津市/2024)
- 総合運動公園施設長寿命化計画見直し業務(富山県富山土木センター/2024)

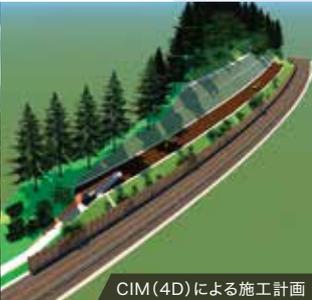


道路

強くしなやかな国をつくるため、国土強靱化（ナショナル・レジリエンス）、防災・減災の取り組みが必要とされています。人・景観・環境・防災の多角的な視点から地域の暮らしを支える社会資本を整え、維持していくことに取り組み、利用者の「安心・安全・快適」な生活空間の提供を支援します。



県道詳細設計



CIM(4D)による施工計画



道路付属物点検



落石対策設計



高規格幹線道路等



交通シミュレーション

▶ 高規格幹線道路等

ルートの検討段階から詳細な設計に至るまで、蓄積された技術力と豊富なノウハウを提供します。

- 路線計画
- 概略・予備・詳細設計
- スマートインターチェンジ設計
- 休憩施設・SA・PA設計
- インターチェンジ設計
- ジャンクション設計
- 交通安全対策設計

▶ 防災

道路の健康診断とも言える「道路防災点検」の重要性を認識し、災害対応だけでなく災害の未然防止に向け、積極的に対策工の提案と設計に取り組みます。

- 道路防災点検
- 落石対策設計
- 防災構造物の予備・詳細設計
- のり面対策工設計
- 災害復旧対策設計
- なだれ対策設計

▶ 道路付帯施設

防護柵、標識、照明などの付帯施設においては、道路の規格に応じた適切な性能の提供と共に、維持管理にも配慮し、道路利用者にとって安心・安全な道路環境の創造に取り組みます。

- 防護柵
- 付帯構造物設計
- 電線共同溝・情報BOX
- 標識・照明・信号等設計
- 消融雪設備設計

▶ 一般道路・街路

自動車から歩行者まで、日常生活に欠かすことのできない生活道路です。地域のニーズに応じた利用しやすく安全な設計を提供します。

- 路線計画
- 概略・予備・詳細設計
- 平面交差点設計
- 立体交差点設計
- 歩道バリアフリー設計
- 自転車道設計
- コミュニティ道路設計
- 駅前広場設計
- 停留場・交通施設設計
- 交通流円滑化対策検討



道路DX 道路維持管理クラウドサービス 「みちクラ」

クラウド・AI技術を組合せた、道路維持管理データの「一元管理化」「迅速な情報連携」、「情報の見える化」により、自治体の働き方改革ならびに住民サービスの向上を支援（詳細は7ページ）



近年の実績一覧
業務実績は一部です。
Webサイトでは過去の実績も
すべてご覧いただけます。

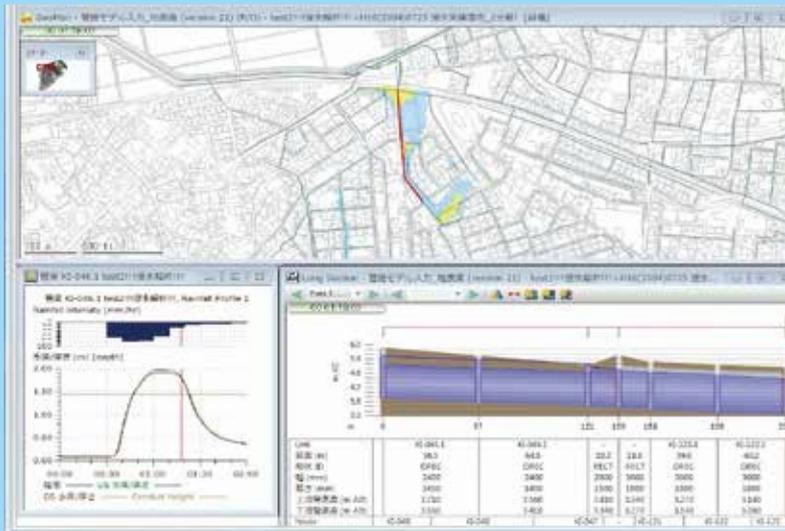
- 「(仮称)道の駅こうのす」アクセス道路実施設計業務 (埼玉県鴻巣市/2022)
- 道路舗装改良工事設計(美原通り、するがや通り) (東京都大田区/2023)
- 国道2号他交通事故対策設計他業務(国土交通省大阪国道事務所/2024)

- 主要地方道氷見額領志雄線道路災害復旧測量設計業務 (富山県氷見土木事務所/2024)
- 法音寺電線共同溝詳細設計業務 (国土交通省高田河川国道事務所/2024)



上下水道

上下水道施設の維持管理・更新、大規模地震に対応した施設の耐震化、高度な浸水解析シミュレーションを用いた浸水対策計画など、ハード整備による「市民の安全性の確保」に加え、内水ハザードマップや事業継続計画（BCP）の策定などのソフト対策によってハード整備を補完し、都市域全体の「防災対応力」の強化を支援します。「ストックマネジメント計画」、「下水道事業計画」を立案し、戦略的な維持管理・更新計画による「下水道事業の持続的な運営」に貢献します。



ポンプ場設備更新のための点検

緊急点検調査ルートの設定(下水道BCP)(市実績)

▶ 上下水道計画 設計・施工管理

上下水道事業や農業集落排水事業における全体計画・事業認可計画や施設の基本・実施設計、工事監理業務等、計画から設計、施工まで施設整備事業をトータルにサポートします。

- 全体計画、事業認可計画
- 施設の基本・実施設計
- 施工監理業務

▶ 耐震診断・耐震補強設計

上下水道施設が地震発生時においても本来の機能を十分発揮できるよう、耐震性能調査・診断、耐震化計画、耐震補強設計まで耐震化事業をトータルサポートします。

- 耐震性能調査・耐震診断
- 耐震化計画
- 耐震補強設計

▶ 雨水管理計画

浸水解析シミュレーションにより、気候変動を考慮した浸水リスクを評価し、既存ストックの有効活用や流域治水の観点も踏まえ、総合的な雨水管理計画を立案します。また、内水ハザードマップ等のソフト的な施策などを含め、浸水対策事業をトータルサポートします。

- 雨水管理総合計画の策定
- 浸水被害軽減社会実験
- 対策施設設計（貯留池、貯留管、ポンプ場）
- 自助・共助等のソフト対策支援
- 浸水解析シミュレーション
- 内水ハザードマップの作成

▶ 上下水道事業経営戦略策定支援

上下水道事業は、地方公営企業会計により運営されています。人口減少下による施設の老朽化対策等、限られた財源での上下水道事業環境下で持続可能な事業運営と住民サービスの継続には、経営戦略の策定が不可欠です。経営戦略を検討することで、水道料金改定、下水道使用料改定の必要性・改定支援のトータルサポートします。

- 水道事業経営戦略策定支援
- 下水道事業経営戦略策定支援
- 水道料金改定支援
- 下水道使用料改定支援

▶ ウォーター PPP 導入検討

2023年度、国土交通省では下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン第1.0版を公表しました。これにより、今後の下水道管渠の更新事業には、ウォーターPPPの導入が交付金要件となりました。当社では、ウォーターPPPの導入支援、ウォーターPPPによる上下水道事業運営のトータルサポートします。

- ウォーターPPP基礎調査
- ウォーターPPP導入支援
- ウォーターPPP事業参画



下水道DX

下水道施設点検クラウドサービス「すいクラ」



下水道施設点検クラウドサービス

IoTとAI技術を活用し、雨に強い街づくり、持続可能な下水道事業運営を実現（詳細は8ページ）



近年の実績一覧
業績実績の一部です。
Webサイトでは過去の実績も
すべてご覧いただけます。

- 早川堀排水区他下水道管更生実施設計業務(新潟県新潟市/2022)
- 日野川浄化センター中央監視設備更新詳細設計業務(福井県福井市/2023)
- 水道事業業務継続計画(風水害対策編)策定業務(富山県富山市/2023)
- 上尾市ポンプ場耐震診断調査業務(埼玉県上尾市/2023)
- 上水道老朽管布設替実施設計業務(埼玉県さいたま市/2023)
- 富山公共下水道松川処理分区分外管路施設改築計画策定業務(富山県富山市/2024)
- 狛江市公共下水道雨水管理総合計画策定業務(東京都狛江市/2024)



都市計画・地域計画

人口減少、少子高齢化の進展や地球温暖化への対応、人々の価値観の多様化など、まちづくり・環境づくりの考え方が大きく変化してきています。そのような中で、地域・生活空間等を安全で快適に、そして地域・都市の経済を活性化するための計画が求められています。多くの市民・住民が共感できるような都市・地域づくりに向けて、「都市・地域計画」「交通計画」「施設整備計画」「防災計画・環境計画」を中心に地域の实情に合ったプランを提案していきます。



ハザードマップ



移動履歴の解析図



ワークショップ



将来都市構造図



ウォークアブル空間の整備イメージ

都市・地域計画

住みやすい街、魅力ある街、活気のある街を形成するためのまちづくりの計画を検討します。GIS等を活用した分析により、まちの特性を活かしつつ、ワークショップ等により地域の人々と合意形成を図り、地域の視点に立った計画を提案します。

- 都市計画マスタープラン
- 総合計画・地域計画
- まちづくり構想・計画
- 公共施設等総合管理計画
- 立地適正化計画
- 緑の基本計画
- 景観整備計画

施設整備計画

上位計画となるまちづくり構想やビジョン等から施設に求められる役割や機能等の整理に加えて、施設利用者のニーズ等をアンケートやワークショップ等により丁寧にくみ取り、反映させながら、施設整備計画を提案します。また、施設整備の補助として、国の交付金の適用の仕方等も見据えた上で、計画策定の業務提案を行います。

- 都市再生整備計画
- 公共施設整備計画
- 企業団地整備計画
- 事後評価
- フォローアップ調査

交通計画

自動車依存率の高さに起因する交通渋滞の発生、鉄道・バスなどの公共交通機関の衰退など様々な社会問題が顕在化してきています。このような交通問題の解決に向けて、各種交通実態調査を実施し、交通環境を取り巻く課題を明らかにしながら、交通の円滑化（スマート化）と歩行者中心の安全で快適な交通環境の構築を目指した構想・計画を提案します。

- 都市・地域総合交通戦略
- 地域公共交通計画
- 都市・地域交通改善計画
- 交通量調査
- コミュニティバス運行検討
- モビリティマネジメント

防災計画、環境計画

自然災害や大規模な事故災害はいつでも、どこでも発生しうる状況にあります。これまで経験した災害教訓を活かし、災害のあらゆる可能性に備えた強靱な都市形成に向けて、地域の实情に即した地域防災の計画づくりを支援していきます。また、地球環境問題に対応するため、地域・経済・環境の好循環に配慮しつつ、低炭素社会づくり、循環型社会づくり、自然共生社会づくりに寄与する提案をしていきます。

- 環境基本計画
- 再生可能エネルギー利用計画
- バイオマスタウン構想
- 新エネルギービジョン
- 再生可能エネルギー導入適地調査
- 地域防災計画
- 事業継続計画 (BCP)



まちづくりDX スマートモビリティサービス

ビックデータ解析による公共交通運行の最適化等。



近年の実績一覧
業務実績は一部です。
Webサイトでは過去の実績も
すべてご覧いただけます。

- 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画見直し業務 (千葉県酒々井町/2023)
- 白井市中心都市拠点構想検討業務 (千葉県白井市/2023)
- 鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定支援業務 (埼玉県鶴ヶ島市/2023)
- 黒部市地域公共交通計画策定業務 (富山県黒部市/2023)
- 街区再編まちづくりガイドライン作成等調査検討業務 (東京都都市整備局/2024)



景観・ランドスケープ

成熟した都市の時代を迎え、人々のライフスタイルに合わせた新しいまちづくりが必要とされています。私たちは公園や緑地、大規模開発などを中心として、都市を美しく快適なものとする 것을目指して日々努力し、多様なニーズにお応えするプランをご提供します。



住区基幹公園設計



スポーツ施設計画



区画整理地区内駅前広場設計

公園緑地計画

近年、公園緑地に求められるニーズが多様化してきています。私達は、環境の維持や景観形成など、緑の持つ様々な機能を活用し、周辺環境や地域特性を最大限に活かした魅力的な公園・緑地を提案します。

- 都市公園構想立案、計画・設計
- 河川、港湾緑地計画・設計
- 駅前広場設計
- 建築外構計画・設計
- 景観施設(照明・サイン等)設計

開発・造成計画

企業のリスク分散、BCPの観点から、工場・企業の新設が盛んに行われています。当社では設計だけでなく、開発許可の申請手続き等も含めて開発事業の実現にご協力いたします。

- 大規模施設造成設計
- 区画整理、宅地造成設計
- 工業団地、企業団地造成設計
- 開発行為許可申請

スポーツ施設計画

健康志向の高まりにより、スポーツ・レクリエーションがますます盛んになる中、一方では施設が老朽化し、ニーズに対応できなくなっている現状があります。私達は施設の新設設計はもちろん、既存施設の改修設計についても多くの実績を有しており、様々なプランを提案することができます。

- 競技場設計(陸上競技場、野球・サッカー・ラグビー場等)
- ストリートスポーツ施設設計(スケートボード、BMX、3x3等)
- レクリエーション施設設計(パークゴルフ場、多目的芝生広場等)
- 学校グラウンド改修設計



まちづくりDX VR景観デザインシステム

形状、質感をリアルに再現することによる景観イメージの共有。



公園DX 公園維持管理クラウドサービス「ぱーくら」



公園施設維持管理をデジタル化して一元管理(詳細は8ページ)



近年の実績一覧
業績実績は一部です。
Webサイトでは過去の実績も
すべてご覧いただけます。

- 小山公園ニュースポーツ広場改修検討・設計業務(神奈川県相模原市/2022)
- 野津田公園スケートパーク基本設計業務(東京都町田市/2023)
- 久喜市総合運動公園改修工事設計業務(埼玉県久喜市/2024)
- 上野恩賜公園夜間景観整備実施設計(東京都建設局/2024)
- 高岡おとぎの森公園改修実施設計等業務(富山県高岡市/2024)

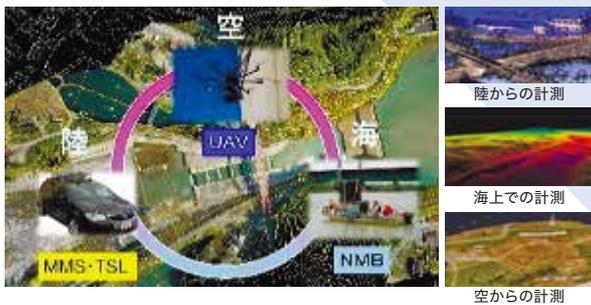


測量 / 補償

測量は、国土の正確な位置情報を測り、空間データを作成することであり、建設部門における根幹であり出発点です。

近年では、衛星測位システムを駆使した測量技術の発展により、精度の高いデータを短時間で収集し、成果を迅速に提供できるようになりました。当社でも基準点測量から用地測量に至るまで、GNSS測量機・TS・モバイルマッピングシステム等の活用を行い作業の効率化に努めています。また、発注者の多種多様な要請及び品質の高い成果を提供するため、技術者の技術力向上は勿論、測量周辺機器の技術革新等の情報を入手し、積極的に導入・利用・応用を行っています。

陸・海・空のセンシング技術



三次元測量

ICT技術を活用し、現場の生産性向上に取り組んでいます。各種三次元計測機器を用いて、陸・海・空の様々な地形条件でも短時間で面的に高精度・高密度なデータ取得することが可能です。取得したデータを三次元モデル化し、様々な分野へ提供しております。

保有機器

- UAV ● 地上型レーザスキャナ
- レーザスキャナ搭載型UAV ● ナローマルチビーム測深機

基準点測量・応用測量

- 基準点測量(1~4級) ● 水準測量(1~4級) ● 路線測量
- 河川測量 ● 用地測量

地籍調査

- 地籍調査A工程~H工程 ● 効率的手法導入推進基本調査
- 山村境界基本調査 ● 官民境界等先行調査 ● 街区境界調査

鉄道施設測量

- 基準点測量 ● 現地測量 ● 中心線測量 ● 縦断測量
- 横断測量 ● 用地測量

土地調査

- 登記記録調査(土地建物) ● 権利者確認調査(相続ほか)

土地評価

- 標準地の選定及び評価額の算定 ● 各画地の評価額の算定

物件補償・事業損失補償

- 建物、工作物、立竹木等の調査及び算定 ● 営業補償の調査及び算定
- 建物等の損傷等の調査(事前・事後)
- 建物日陰(太陽光発電設備)補償の調査及び算定

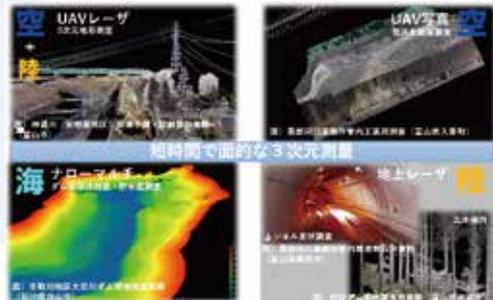
補償関連・総合補償

- 公共用地交渉支援、補償説明 ● 用地アセスメント調査



点検・サーベイDX

様々なセンシング技術を駆使して、DXのベースとなる三次元データを取得。



TLS/UAV 写真 / NMB 技術で、形状変化をビジュアライズ



森林DX

BLS式センシング技術・ICT樹木解析技術を活用した森林資源調査を実現

森林資源 LiDAR/SLAM 調査

林内歩行型「BLS」式による、森林資源調査の計測で調査時間の効率化/点群データの取得。



現地計測(BLS式)

樹木の三次元点群データ

森林管理 ICT サービス

樹木解析のICT化により、森林管理情報の分析/高度利用化。



近年の実績一覧

業務実績は一部です。Webサイトでは過去の実績もすべてご覧いただけます。

- 能登半島地震町道2級瑞穂武連1号線外34路線測量業務(石川県能登町/2024)
- 小松(4補)測量等調査(防衛省近畿中部防衛局/2024)
- 富山管内道路測量業務(国土交通省富山河川国道事務所/2024)

- 地籍調査委託(道路公園管理課委託第4号)(東京都足立区/2024)
- 野々市中央公園拡張整備事業土地評価業務(石川県野々市市/2024)
- 能登復興事務所用地調査点検等技術業務(国土交通省能登復興事務所/2024)



河川、砂防及び海岸・海洋 / 農業 / 漁港・港湾

流域全体の保全を目標に、河川をはじめとする治水や水資源管理を行うインフラ施設の耐震化や長寿命化を図ることで、既設のインフラを有効かつ効率的に活用できる社会資本整備に取組み、地域の安全・安心に貢献します。さらに流域がもたらす恩恵を享受するためにも、低炭素社会づくりに向けた自然再生エネルギーの可能性調査から計画・設計、生物多様性の保全まで幅広く対応します。



令和4年度 優良業務・優良技術者【局長表彰受賞】
R4渡良瀬川管内ゲート設備改良設計業務

構造物耐震補強設計

小水力発電所計画設計

離岸堤詳細設計

水域施設の静穏度解析

河川・砂防

近年の気象変動に伴い、河川・砂防に関する災害が多発していますが、住民の生命・財産を守るうえで災害を防ぐ河川・砂防の整備は不可欠です。これらの災害を未然に防ぐソフト・ハード対策についてトータルにサポートします。

- 河道計画・護岸詳細設計
- 構造物耐震補強設計
- 鋼矢板護岸補修設計
- 自然再生事業計画
- 河川事業再評価計画
- 河川堤防浸透解析・築堤詳細設計
- 樋門予備・詳細設計
- 洪水浸水想定区域図作成に関わる各種浸水解析
- 砂防基礎調査
- 砂防堰堤予備・詳細設計
- 砂防関係施設点検
- 洪水ハザードマップ

漁港・港湾

運用開始から数十年経過した老朽化施設に対し、現状施設の調査・点検からライフサイクル計画立案までトータルにサポートします。

- 漁港・港湾施設維持管理計画策定
- 漁港・港湾施設補修・補強設計

農業

安定した社会基盤形成のために農業環境改善を目的とした、用・排水路やため池などの施設の調査・診断を行い、保全計画を策定するとともに、施設の更新設計を行っています。

- 農業水利施設設計、事業計画
- 機能保全計画策定に係る調査・診断・設計
- ため池耐震性能調査
- 水管理・遠方監視制御システム設計

海岸・海洋

国土の最前線である海岸域を保全することがわが国の重要課題と捉え、トータル的な提案を行い、サポートします。

- 海岸侵食対策調査計画
- 海岸保全施設予備・詳細設計
- 海岸保全施設維持管理計画策定
- 海岸保全施設災害復旧
- ブルーカーボン（海洋）



河川DX 河川維持管理クラウドサービス



河川の安心・安全&住民対応をスマートに、災害時の状況も職員間でリアルタイムに情報共有（詳細は7ページ）



近年の実績一覧
業務実績は一部です。
Webサイトでは過去の実績もすべてご覧いただけます。

- 渡良瀬川管内ゲート設備改良設計業務
(国土交通省渡良瀬川河川事務所/2022)
- 信濃川左岸流域農業水利事業水管理施設補足設計業務
(農林水産省信濃川左岸流域農業水利事業所/2023)

- 黒部川水系直轄砂防施設設計検討業務(国土交通省黒部川河川事務所/2023)
- 三重用水幹線水路理谷サイホン外機能診断調査業務
(水資源機構三重水管理所/2023)
- 常陸川水門大開門外開閉装置等更新設計業務(国土交通省霞ヶ浦河川事務所/2024)

NiX JAPANグループ株式会社 会社概要

NiX JAPANグループ株式会社 (NiX JAPAN GROUP Co.,Ltd.)

代表者	代表取締役社長 市森 友明
設立	2025年4月1日
事業内容	グループ企業全体の経営を統括
所在地	東京本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号 TEL 03-6802-8876
	富山本社 〒930-0857 富山県富山市奥田新町1番23号 TEL 076-464-6520
社員数	33名(グループ連結従業員数:659名)
ホームページ	https://nix-japan-group.co.jp

インフラ技術サービス事業

NiX JAPAN株式会社

事業	社会インフラ整備の計画設計をはじめとしたインフラ技術サービス事業、DXサービス事業、エネルギー事業など幅広い業務を手掛ける。
所在地	富山本社:富山市奥田新町1番23号 東京本社:東京都千代田区東神田二丁目5番12号
設立	1979年4月

株式会社セイコー測量

事業	測量・調査
所在地	神奈川県横浜市西区久保町5番20号
設立	1984年6月

NiX三喜株式会社

事業	測量・調査、土木設計、地理空間情報システム、補償コンサルタント
所在地	茨城県水戸市城南1丁目7-5 第6プリンスビル5階
設立	1976年7月

株式会社技研コンサルタント

事業	建設コンサルタント、測量、地質調査、補償コンサルタント
所在地	神奈川県横浜市西区久保町5番20号
設立	1973年5月

株式会社東光測建

事業	測量、補償コンサルタント、情報処理、開発設計
所在地	神奈川県川崎市麻生区栗木213番地5
設立	1965年6月

株式会社親熱電工

事業	公共施設に関わる電気通信設備の設計業務
所在地	北海道札幌市北区麻生町3丁目10-1
設立	1991年5月

株式会社昭和設計コンサルタント

事業	建設コンサルタント、測量、情報関連
所在地	大阪府大阪市北区東天満2丁目9番4号
設立	1973年5月

NiX CREATE 株式会社

事業	建築設計、既存建築物の調査診断
所在地	宮城県仙台市青葉区二丁目17-27
設立	2002年3月

有限会社ヒロエンジニアリング

事業	公共施設に関わる電気通信設備の設計業務
所在地	北海道札幌市白石区東札幌3条2丁目1-57-808
設立	2000年5月

DXサービス事業

NiX RiSE株式会社

事業	AIとDXの融合を手掛け実装するハイテクノロジー技術者集団
所在地	東京都千代田区東神田1-10-7 BIZCORE東神田 6階
設立	2024年11月

クエスト株式会社

事業	4G対応工事用デジタルサイネージや建設現場の省人化、節電が可能となる「JITAN SWITCH」などIoT技術を利用したシステム・サービス開発で建設現場におけるDX化を行う。
所在地	埼玉県川口市南鳩ヶ谷6-13-5
設立	2012年1月

エネルギー事業：国内(Independent Power Producer(IPP))

ニックスニューエネルギー株式会社

事業	日本国内での小水力・太陽光発電事業の開発・運営
運営発電所	NiX八尾ソーラーパワー(1,260kW/富山市) 湯谷川小水力発電所(843kW/富山県南砺市)

NiX湯涌ハイドロパワー株式会社

運営発電所	金沢ゆわく小水力発電所(160kW/石川県金沢市)
-------	---------------------------

平沢川小水力発電株式会社

運営発電所	平沢川小水力発電所(198kW/石川県金沢市)
-------	-------------------------

海外事業：エネルギー事業・投資事業

PT. NiX Indonesia Consulting

事業	海外水力・太陽光発電エンジニアリング
----	--------------------

PT. Lebong Sukses Energi

事業	インドネシアでの水力発電事業の開発・運営 ケタウン水力発電所(13,000kW)開発中
----	------------------------------------------------

PT. Optima Tirta Energy

事業	インドネシアでの水力発電事業の開発・運営 トンガル水力発電所(6,200kW)運営中
----	-----------------------------------------------

PT. NiX Capital Indonesia

事業	事業投資及び投資アドバイザー事業
----	------------------

NiX Holdings Singapore Pte. Ltd.

事業	海外事業統括拠点
----	----------

ALAM NIX RENEWABLES Pte. Ltd.

事業	インドネシア屋根置き太陽光発電事業
----	-------------------

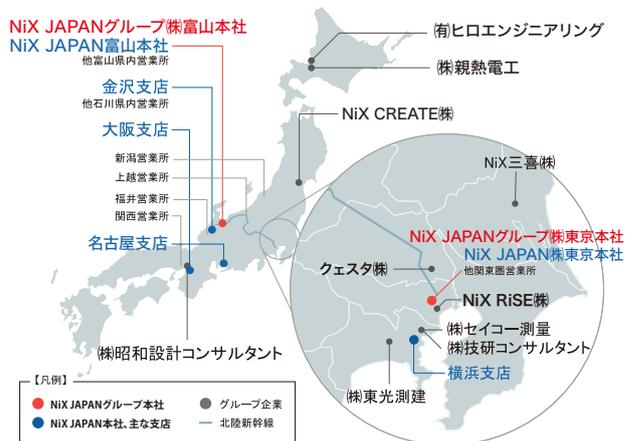
Green Power Management Pte. Ltd.

事業	インドネシア電動二輪車販売レンタル・バッテリーステーション運営事業
----	-----------------------------------

PT. ARSynergy NiX Indonesia

事業	インドネシアLPガス充填販売事業
----	------------------

拠点情報



NiX JAPAN 株式会社 会社概要

NiX JAPAN株式会社 (NiX JAPAN Co.,Ltd.)

代表者	代表取締役社長 市森 友明	
設立	1979年4月25日	
事業内容	社会インフラ整備の計画設計をはじめとしたインフラ技術サービス事業、DXサービス事業、エネルギー事業など幅広い業務を手掛ける。	
所在地	富山本社	〒930-0857 富山県富山市奥田新町1番23号 TEL 076-464-6520
	東京本社	〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号 TEL 03-6802-8876
社員数	302名	
ホームページ	https://nix-japan.co.jp/	

有資格者一覧

資格等名称	人数	
技術士	建設部門	9名
	河川、砂防及び海岸・海洋	14名
	道路	12名
	都市及び地方計画	3名
	土質及び基礎	5名
	鋼構造及びコンクリート	1名
	トンネル	4名
	建設環境	1名
	施工計画、施工設備及び積算	3名
	上下水道部門	7名
	上水道及び工業用水道	3名
	下水道	3名
	農業部門	3名
	農業農村工学(農業土木)	1名
環境	14名	
環境保全計画	77名	
RCCM	総合技術監理部門	5名
	河川、砂防及び海岸・海洋	2名
	港湾及び空港	5名
	道路	1名
	上水道及び工業用水道	2名
	下水道	1名
	農業土木	1名
	廃棄物	3名
	土質及び基礎	11名
	鋼構造及びコンクリート	1名
	建設環境	3名
	都市計画及び地方計画	1名
	トンネル	1名
	地質	1名
建設情報	4名	
博士	工学	2名
	学術	1名
	経営科学	7名
一級建築士	4名	
二級建築士	3名	
コンクリート診断士	8名	
道路橋点検士	22名	
補償業務管理士	土地調査	10名
	土地評価	2名
	物件	7名
	機械工作物	2名
	営業・特殊	2名
	事業損失	6名
	補償関連	5名
	総合補償	2名
土地改良補償業務管理者	3名	
測量士	33名	
空間情報総括監理技術者	1名	
1級土木施工管理技士	44名	
1級造園施工管理技士	7名	
1級建築施工管理技士	1名	
上級土木技術者	1名	
1級土木技術者	6名	
農業土木技術管理士	7名	
河川維持管理技術者	1名	
下水道技術検定(第1種)	2名	
下水道技術検定(第2種)	5名	
下水道技術検定(第3種)	2名	
情報処理技術者	基本情報処理技術者	2名
情報処理技術者	情報処理安全確保支援士	1名
情報処理技術者	情報セキュリティマネジメント	2名
情報処理技術者	応用情報技術者	2名
高度情報処理技術者		5名
第2種ダム水路主任技術者		1名

各種認定など



組織図



SOCIAL DESIGN INNOVATOR



NiX JAPAN グループ株式会社



2025.08

東京本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目5番12号
TEL 03-6802-8876

富山本社 〒930-0857 富山県富山市奥田新町1番23号
TEL 076-464-6520

ホームページ <https://nix-japan-group.co.jp>

公式SNS



NiX JAPAN GROUP



Urban Skate Park



Facebook



YouTube